

報道関係各位

2007年4月24日  
緑内障フレンド・ネットワーク

(りよくない)  
6月7日は“緑内障を考える日”  
『私の緑内障日記』プレゼント

緑内障の啓発を主に活動する患者組織である緑内障フレンド・ネットワーク(代表：柿澤 映子 会員数：1,600名)は、6月7日の記念日「緑内障を考える日」を機会に、より多くの方に緑内障について正しく理解していただき、早期発見・早期治療につなげるため、オリジナル手帳『私の緑内障日記』を先着1,000名様にプレゼントいたします。

昨年、「緑内障を考える日」の記念日制定1周年を記念して、同手帳のプレゼントキャンペーンを実施した際、大変ご好評いただきましたので、今年も実施することとなりました。



A6版 47ページ 非売品

#### 『私の緑内障日記』とは？

目の構造や緑内障の検査方法など、緑内障についての基礎知識をわかりやすく説明。また、医師との上手なコミュニケーションのポイントを紹介し、初めて検査に行かれる方、すでに緑内障患者として治療中の方、すべての方に役立つ情報満載の手帳です。

監修 岐阜大学名誉教授 / 医学博士 北澤克明  
協力 (社)日本眼科医会 / 日本緑内障学会  
制作 緑内障フレンド・ネットワーク

**プレゼント数** 総計1,000冊  
(但し、冊子がなくなり次第終了とさせていただきますので、予めご了承ください。)

**応募締切** 2007年6月30日(当日消印有効)

**当選者発表** プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

**応募方法** 官製はがきに必要事項を記入の上、下記宛先へ郵送にて受け付けます。

<はがき郵送先> 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-8 日本YWCA会館  
株式会社トークス内 「私の緑内障日記プレゼント」(貴紙名)係  
<必要記入事項> 郵便番号 住所 氏名 年齢 電話番号

## 緑内障とは

緑内障は眼圧によって目の神経に障害がおき、視野が狭くなる病気です。日本では実に40歳以上の20人に1人が緑内障といわれています。多くの場合、本人も気づかずゆっくり進行しますので、放置すると失明する危険性のある病気です。2002年厚生労働省調査(中間報告)では、失明につながる「視覚障害」の原因の第1位になりました。

日本においては、緑内障の中でもNTG(Normal Tension Glaucoma;正常眼圧緑内障)が最も多く、40歳以上の28人に1人が罹患していると言われていています。NTGは、眼圧が正常範囲内であるにもかかわらず、視野の欠損や視神経の障害がおこるタイプの緑内障で、約8~9割の方が未受診といわれています。失明を未然に防ぐためにも、早期発見・早期治療が大変重要です。

## 緑内障フレンド・ネットワーク <http://www.gfnet.gr.jp/>

緑内障フレンド・ネットワークは、2000年6月1日に設立された緑内障の患者組織です。緑内障の患者、家族・身内に患者のいる人、活動に賛同する個人、団体、企業などによって構成されています。会員数は1,600名にのぼり(2007年2月現在)、患者やその家族の交流の場として、また、緑内障について社会一般の認識を高めることを目的として活動しています。

代 表：柿澤 映子

顧 問：北澤 克明(岐阜大学名誉教授・日本緑内障学会前理事長)

活動概要：緑内障ホットラインの運営、ホームページの開設、厚生労働省への陳情、  
書籍の出版、会員の集い、会報の発行、一般の方々への啓発活動 他

本ネットワークは、日本緑内障学会、日本眼科医会からも支持を得ています。

---

## 本リリースに関する報道機関からのお問い合わせ

緑内障フレンド・ネットワーク広報事務局 野村/伊藤

TEL:03-3261-7715 FAX:03-3261-7174

E-mail : tocs-ntg@pr-tocs.co.jp

掲載時には、お手数ですが、上記までご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。